2015 年 5 月 15 日

5.15 労働者保護ルール改悪阻止を求める国会前座り込み行動
―絶対に阻止！絶対にＮｏ！絶対に廃案！

いよいよ５月１２日から国会での労働者派遣法改悪の審議が始まった。

連合は、この法案を絶対に通すわけにはいかない、断固阻止するとの決意で、早朝から議員会館前を陣取り、国会へ向けて改悪反対を訴えた。全国から働く仲間８６７名が集結。また民主党をはじめとする国会議員も多数駆けつけ、連合とともに最後まで闘い抜くと力強く訴えた。

労働者派遣法の改悪および労働時間規制の改悪阻止に向け「派遣労働者の使い捨ては決して許さない！命と健康を削る改悪は絶対許さない！雇用の劣化は許さない！」と声高く、切れ間なく国会へ向けて訴え続けた。

■行動開始集会

神津事務局長は、「政府は、訳もなく際限もなく規制を緩め、ルールが曖昧なまま、簡単に“大丈夫、信じてください”などと言う。そんなもの信じられるものか！国民の不安に全くこたえていない！連合は絶対に許せない！」と訴えた。派遣という働き方は本来一つの立派な働き方であるものの、大半が“生涯派遣で低賃金”である実態や、さらに労働時間規制がひどい法案であることを訴え「多くの仲間が声をあげ、何としても廃案に追い込もう！」と呼びかけた。

民主党からは細野政調会長が駆けつけ「連合とともに最後まで闘い抜く。労働者派遣法案を三度目の廃案に追い込もう！」と決意表明した。

■怒りの昼集会

古賀会長が「この法案改悪を阻止できるかどうかの正念場だ。労働者派遣法案は悪法であり欠陥法だ。当たり前の働き方ができるよう、断固阻止、断固ノーを訴えよう。労働基準法案についても、年間 100 人近くの人が過労死している中、まずは長時間労働をなくすべきところ、ホワイトカラーエグゼンプションの導入とは論外である。怒りの声、怒りの力、怒りの行動を結集しよう！」と力強く訴えた。

構成組織、地方連合会からの報告に続いて、現場で働く派遣労働者から「昼間は日雇い派遣、夜はアルバイトで生計を立てている。有給休暇を申請したら会社から「契

約更新しない」と言われた。このようなひどい状況をさらに悪化させるような改悪には断固反対」と悲痛な現状が訴えられた。
　民主党・長妻代表代行からは「製造業で働く派遣労働者の労働災害は、他の労働者の２倍もある。安全教育も受けていないのではないか。この国にまっとうな働き方を根付かせなければならない」、山井衆議院議員からはドイツの派遣労働に関する失敗事例をあげ「労働者派遣法案は“正社員ゼロ法案”“リストラ法案”といえる。何としても廃案に追い込みたい」と決意表明があった。

■座り込みの最中にも訴え

　構成組織や地方連合会のみならず、退職者連合からも労働者保護ルール改悪阻止を次々に訴えた。また、民主党をはじめとする国会議員も公務の合間をぬって激励に続々と駆けつけた。

■まとめの集会

　古賀会長が「連合組合員６８２万人全員が職場、地域で危機感を共有し、改悪を絶対に阻止しよう！」と一日の行動を締めくくった。
　民主党・枝野幹事長からは「それぞれの職場、それぞれの地域で頑張ってきた人の力を積み重ねて今の日本がある。働く人は日本の宝だ。労働者が安心して力を発揮できるようにすべきなのに、政府はそれを壊そうとしている。民主党は全党をあげて廃案に追い込む。改悪阻止に向けてしっかりスクラムを組んで戦おう！」と力強く訴えた。

　連合は、メーデーを契機に全国キャラバンを展開し、労働者保護ルール改悪阻止を全国で訴え、５月２７日に開催予定の「怒りの集会」につなげる。
　世界中に「派遣」という働き方があるが、臨時的・一時的であり、均等待遇原則であることが世界標準である。しかし日本はこの動きに逆行し、世界に類のない改悪をしようとしている。これは今働いている私たちだけの問題ではない。将来の雇用の劣化を阻止するために、連合は声をあげ続け、引き続き全力投球する。